

「小さな芽から大きな実を結ぶ活動」

武石地域下小寺尾集落

遊休農地の解消活動

上田市武石地域の下小寺尾集落では、農業者の高齢化・後継者不足などの生産構造の脆弱化に加え、シカやイノシシによる農作物被害の拡大により遊休農地が増加し、地域営農と集落活動の弱体化が懸念されている。

このような地域課題を心配し、何とかしようと地元の農業委員が先頭に立ち、上田市武石地域自治センターの全面協力のもと、国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して42アールの遊休農地の解消を図った。

解消作業は、雑木林の抜排根を地元農業委員とバックホーの運転ができる地元農家の2名で実施し、その後の作業を地元農業委員と武石自治センターの熱意とやる気に共感していただいた(株)甲信クボタの協力を得て、大型機械による除礫と深耕・整地作業から土壌改良剤の散布、そばの播種作業を行っていただいた。



解消活動を活用して

今回の活動を通して、地元農家を始めとする地域住民に問題の提起による地区活動の活発化を図るため、

- ① 大型機械による解消作業の実演会及び展示
(クローラトラクター、ストーンピッカー、サブソイラー等)
 - ② 機械化によるそば播種作業の実演会
 - ③ 鳥獣被害対策研修会及び防護柵設置研修会
- を開催し、栽培期間を通して地域住民に参画していただき問題意識の共有と地域課題への議論の活発化が図られた。

更に、収穫されたそばを活用して、地域住民のほか地域外の消費者を交えてのそば打ち講習会を開催し、地域の魅力の再発見と活性化への息吹が芽生えた。

ステップアップ

地元農業委員一人の思いが武石自治センターや(株)甲信クボタを巻き込み、集落を活気づかせ、そば豆腐などの地域特産物の研究・開発が行われているとともに、23年度は約2ヘクタールの遊休農地の解消に取り組み、そばによる「村おこし」を地域ぐるみで進めることとしている。

今回の活動は、一人の思いと行動が集落全体に波及し、大きな実を付けようとしている取り組みであり、遊休農地対策においては核となる「人」が重要であると再認識させられた。今後も、武石自治センターと一緒に地域振興のため、農業委員を始めとする地域の素晴らしい方々とできる限り関わっていきたい。



【報告：上小地方事務所農政課】